

図1

ホームページ
HIV検査・相談マップ
<http://www.hivkensa.com>

2008年12月現在
1日平均アクセス数
約2400件/日

2001年9月からの
合計アクセス数
480万件

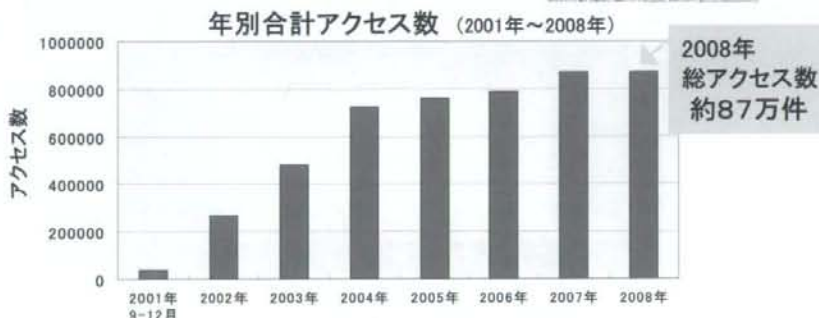
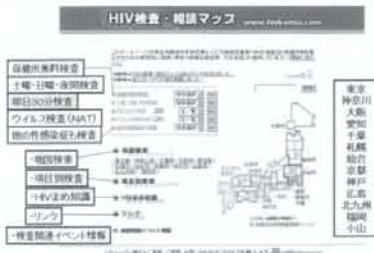


図2

携帯電話版サイト
HIV検査・相談マップ
<http://www.hivkensa.com>

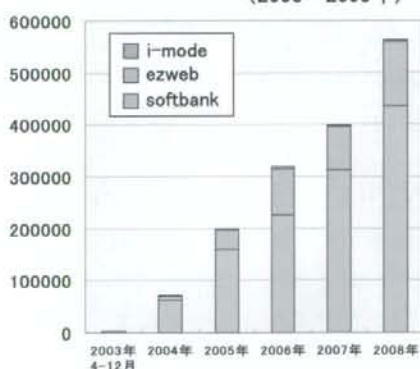
2008年12月現在
1日平均アクセス数
約1540件/日

2001年12月からの
合計アクセス数
155万件



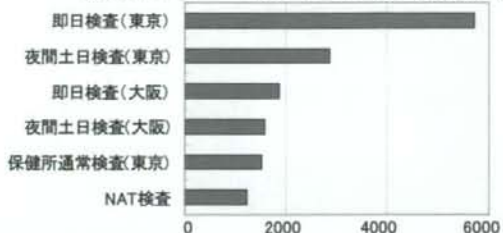
2004年3月より
全ての携帯電話で
(i-mode, ezweb, softbank)
アクセス可能

年別合計アクセス数
(2003～2008年)



2008年
総アクセス数 約56万件

図3 各カテゴリーへのアクセス数 (2008年12月分)



詳細ページアクセス数 (2008年12月分)



図4 アクセス数の変動と各種報道 (2008年)

HIV検査・相談マップ アクセス数 日別推移 (1日平均 約2400件)

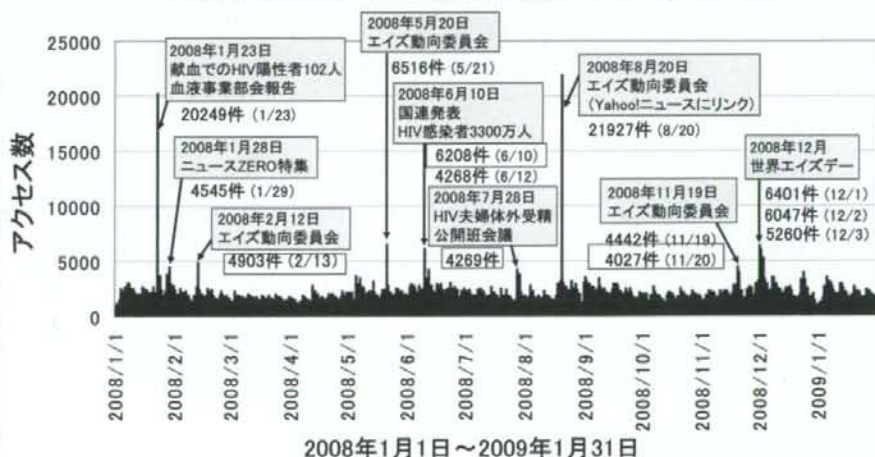


図5

地域別のアクセス数（東京、大阪、神奈川、愛知）

2008年アクセス数

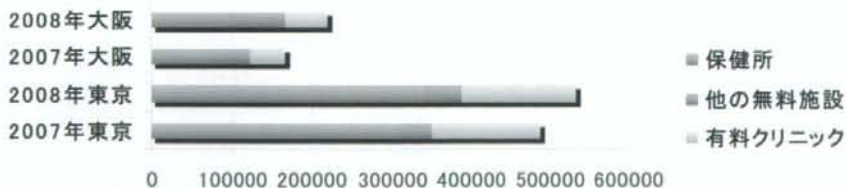


即日検査実施機関数/全機関数	東京	大阪	神奈川	愛知
■ 保健所	10/32	0/30	8/37	7/31
■ 他の無料施設	0/1	1/5	3/6	1/1
■ 有料クリニック	10/10	3/3	3/3	1/1

図6

地域別のアクセス数（東京、大阪）

2007年/2008年アクセス数



即日検査実施機関数	東京	大阪
■ 保健所	10/32	0/30
■ 他の無料施設	0/1	1/5
■ 有料クリニック	10/10	3/3

2. HIV 検査相談に関する全国保健所アンケート調査 (H20 年)

今井光信	(神奈川県衛生研究所)
佐野貴子	(神奈川県衛生研究所微生物部)
大野理恵	(神奈川県衛生研究所微生物部 HIV 研究班)
須藤弘二	(神奈川県衛生研究所微生物部 HIV 研究班)
近藤真規子	(神奈川県衛生研究所微生物部)
中瀬克己	(岡山市保健所)
角野文彦	(全国保健所長会会長)

研究概要

本研究班では保健所等における HIV 検査体制の実状を把握し、また、その充実を計るため、全国の全保健所等を対象とした HIV 検査相談の検査体制・相談体制に関するアンケート調査を昨年に引き続き実施した。

今回の全国保健所アンケート調査においては、全国の保健所等の協力により、対象とした 593 ヶ所(保健所及びその支所等)の施設中、534 施設(90%)から回答を得ることができた。

アンケート結果では、平成 20 年の 1 年間に、回答の得られた 534 施設で、128,249 件の HIV 検査が実施され、280 件(0.22%)が陽性であった。陽性 280 件中 259 件(93%)が保健所等に再来所して陽性の結果を受け取っており、また、その中の 208 件(74%)については、その後医療機関に受診していることが保健所等において確認されていることが分かった。また、感染症法に基づく届出に関しては、平成 20 年に陽性と分かった 280 件中の 206 件については自施設からの報告が行われており、残りは紹介先の医療機関に届け出を依頼していることが分かった。

即日検査の実施状況に関しては、平成 20 年に即日検査を実施した保健所は 313 施設(59%)と昨年とほぼ同様で、HIV 検査相談における即日検査が定着しつつあることがわかった。また夜間・土日検査に関しても、夜間検査が 157 施設(29%)で、土日検査が 74 施設(14%)といずれもほぼ昨年と同じであった。

保健所以外の特設の検査相談施設を対象としたアンケート調査では、対象とした 17 施設全てから回答が得られ、2008 年 1 年間の検査件数は 25887 件で陽性件数は 164 件(0.6%)であった。この中で陽性の結果を本人に伝えられたのは 156 件(95%)、その後医療機関に受診したことを確認できた件数が 123(75%)であった。

また、例年の保健所アンケート実施の一つのきっかけでもあった誤通知に関しては、結果返しの過程において、一時的に誤った結果が伝えられた事例が 2008 年にも HIV 検査に関して一例、その他の性感染症検査において一例あり、今後とも、誤通知等の事故防止に関する取り組みについては、強化する必要があることが分かった。

また、平成 20 年度の速報値では、新規の HIV 感染者報告数が 1545 件(感染者 1113 件、患者 432 件)と年々増加しつつあること、その中でエイズ発症者の比率が 28%と依然高いこと、献血者の中での HIV 検査陽性者数も 107 件と増加していること等を考えると、保健所等の HIV 検査相談に求められている役割はさらに大きなものであり、受検者増と検査相談の質の向上に向けてのさらなる努力が必要と思われる。

A. 目的

保健所等における HIV 検査体制の実状を把

握し、その充実を計るため、全国の全保健所等を対象に HIV 検査相談の検査体制・相談体

制に関するアンケート調査を実施した。

B. 方法

全国の保健所およびその支所等 593 の HIV 検査相談施設と南新宿 HIV 検査相談施設等 17 の特設 HIV 検査相談施設を対象に、平成 20 年 12 月 19 日に HIV 検査相談に関するアンケート調査票（資料 1 参照）を郵送し、平成 20 年 1 月 23 日を締め切り日として、返送用封筒によりアンケート調査票を回収し、結果の解析を行った。

C. 結果

今回のアンケート調査では、全国の保健所等の 593 施設中 534 施設からアンケート結果が返送され、アンケートの回収率は 90%と昨年同様高率であった。また、特設検査相談機関については、対象とした 17 施設の全てからアンケート結果を回収できた。

① 保健所における HIV 検査相談の実施率

回答のあった 534 保健所等施設の中で HIV 検査相談を実施している施設は 533 箇所（99.8%）であった。

② HIV 検査総数と陽性率

上記保健所等 534 施設で平成 20 年に行った HIV 検査相談の検査総数は 128,249 件で、陽性例は 280 例（0.22%）であった。昨年に比べ検査数は 9%、陽性数は 0.4%の増加であった。

③ HIV 検査陽性者の結果通知と医療機関受診の把握率（図 2,3）

HIV 検査陽性の 280 例において、受検者が陽性の確認検査を受け取りに再来所したのは 259 例（93%）であった。この中で医療機関に受診したことが確認されている事例は 208 例であり、陽性結果を伝えられた 259 例中の 80%、全陽性例中の 74%であった。

④ HIV の確認検査陽性例の報告

HIV の確認検査陽性例の感染症法に基づく届け出に関しては、平成 20 年に陽性と分かった 280 件中の 206 件（74%）については自

施設からの報告が行われており、残りは紹介先の医療機関に届け出を依頼していることが分かった。

⑤ HIV 検査以外の性感染症検査について

HIV 検査以外の性感染症検査に関しては 409 施設（76%）の保健所等で実施しており、その内訳は、梅毒検査 342（64%）施設、クラミジア抗体 275（52%）施設、クラミジア抗原 57（11%）施設、淋菌 30（6%）施設、B 型肝炎 126（24%）施設等であった。

⑥ 即日検査の実施状況

即日検査のみ実施している施設が 182 施設（34%）、即日検査と通常検査を行っている施設が 131 施設（25%）、通常検査のみを行っている施設は 219 施設（41%）であり、59%の施設が即日検査を実施していることが分かった。

⑦ 土曜・日曜・夜間検査の実施状況

HIV 検査相談を実施している全国 533 保健所で、平日・昼間にのみ検査を行っている保健所が 55%、夜間検査を行っている保健所が 29%、土曜・日曜検査を行っている保健所が 14%と、ほぼ昨年と同じ比率であった。

⑧ 検査法と実施時間の組み合わせ

検査法と実施時間との組み合わせでは、通常平日の検査は 30%、通常夜間が 8%、通常土日が 2%であり、即日平日が 17%、即日夜間が 10%、即日土日が 5%であり、両検査平日が 6%、両検査夜間が 12%、両検査土日が 7%であった。通常平日の組み合わせの占める比率は 30%で多くの検査施設がより利便性の高い検査相談の提供に努力していることが分かった。

⑨ 年間検査件数別の保健所分布

年間検査件数別の保健所分布に関しては、年間検査件数が 50 件未満の保健所数は 123 箇所（23%）、50 件以上 100 件未満は 83 箇所（16%）、100 件以上 200 件未満は 128 箇所（25%）、200 件以上 500 件未満は 122 箇所（23%）、500 件以上 1000 件未満は 51 箇所（10%）、1000 件以上は 18 箇所（3%）であった。

⑨ 年間検査件数別の検査数

年間検査件数が200件以上の保健所数は36%であったが、そこで実施された検査件数は、検査数計の79%を占めていること、また、年間500件以上の施設は13%であるが検査数の49%を占めることが分かった。

⑩ 年間検査件数別の陽性率

保健所等のHIV検査相談における陽性率は、平均では0.22%であり、年間検査数別に調べると、検査数50件未満の保健所では0.07%と低く、200-499件の施設では0.17%、1000件以上の施設では0.36%と検査数の多い施設ほど陽性率も高い傾向がみられた。

⑪ 予約制の有無

予約制の有無に関しては通常検査の実施施設の52%、即日検査の実施施設の81%が予約制を実施しており、またその場合通常検査の60%、即日検査の83%が上限をもうけていることが分かった。

⑫ HIV検査の結果返しの期間

通常のHIV検査を行っている保健所における検査結果返しは、1週間後が66%、2週間後が23%であった。即日検査を行っている保健所において、スクリーニング検査陽性となった時の確認検査の結果返しに関しては、1週間後が56%、2週間後が28%であった。

⑬ HIV検査の実施施設

通常検査の場合、一部は自保健所で実施されているが、衛生研究所への委託が46%、外部委託による検査は28%であった。また、確認検査に関しては衛生研究所への依頼が76%で、外部委託は17%であった。

即日検査の場合、迅速検査の実施者は、自施設の検査職員が64%、医師、保健師が16%であった。

⑭ 特設検査相談施設における検査相談

17箇所の特設検査相談機関での検査総数は25,887件で、陽性例は164例(0.6%)であった。これら陽性例において、受検者が陽性の確認結果を受け取りに再来所したのは156

例(95%)であった。

また、この中で医療機関に受診したことが確認されている事例は123例であり、陽性結果を伝えられた156例中の79%、全陽性例中の75%であった。

D. まとめと考察

今回行った全国保健所アンケート調査においては、全国の保健所の協力により、対象とした593の保健所等施設の90%、534施設から回答を得ることができた。

アンケート結果では、HIV検査を実施している全国の533保健所等施設で、平成20年には128,249件のHIV検査が実施され、そのうち280件(0.22%)が陽性であった。この280件の陽性例のうち、259件(93%)が再来所して陽性の結果を受け取っており、その208件(74%)については、その後医療機関に受診していることが保健所において確認されていることが分かった。医療機関に繋がったことの確認できた率は、一昨年の調査よりは高い率になっているが昨年よりは若干低かった。

また、HIV検査相談の利便性の向上に関しては、即日検査を実施している保健所の比率は59%とほぼ昨年と同じで、即日検査の導入も普及が進み定着しつつあることが分かった。また、通常検査のみを実施している保健所(41%)であっても、夜間、土日検査等受検者に利便性の高い時間帯の検査を実施している保健所が10%あり、平日昼間の通常検査を実施している保健所は全体の30%であった。しかしながら、即日検査の導入に関しては地域的な偏りもみられ、また、平成20年度の速報値では、新規のHIV感染者報告数が1545件(感染者1113件、患者432件)と年々増加しつつあること、その中でエイズ発症者の比率が28%と依然高いこと、献血者の中でのHIV検査陽性者数も107件と増加していること等を考えると、保健所等のHIV検査相談に求められている役割はさらに大きなものであ

り、受検者増と検査相談の質の向上に向けてのさらなる努力が必要と思われる。

謝辞

保健所の様々な業務で忙しい中、アンケート調査にご協力頂いた全国の保健所等関係者の皆様方に深く感謝致します。

図1

保健所等におけるHIV検査体制に関する 全国調査の結果

(2009年1月23日)

HIV検査体制
研究班

保健所アンケート 回答数 (2009.3.2現在) 534 / 593箇所 (90%)

2008年にHIV検査を実施した保健所 533 / 534箇所 (99.8%)

2008年に陽性結果のあった保健所 122 / 533箇所 (23%)

陽性件数 280 / 128, 249 (陽性率 0.22%)

陽性結果を伝えられた件数 → 259 / 280 (93%)

受診したことを把握できた件数 → 208 / 280 (74%)

発生同行調査の報告を行った感染者数件数 → 206 / 280 (74%)

(陰性結果を伝えられた件数 → 125107 / 127969 (98%))

1

図2

保健所等におけるHIV検査体制に関する 全国調査の結果

(2009年1月23日)

HIV検査体制
研究班

特設検査機関アンケート 回答数 (2009.2.10現在) 17 / 17箇所 (100%)

2008年にHIV陽性結果のあった特設検査機関 17 / 17箇所

陽性件数 164 / 25887 (陽性率 0.6%)

陽性結果を伝えられた件数 → 156 / 164 (95%)

受診したことを把握できた件数 → 123 / 164 (75%)

(陰性結果を伝えられた件数 → 25246 / 25723 (98%))

2

図3

保健所HIV検査 — 即日検査と通常検査 —

(2008年)

(533件中)



18

図4

保健所HIV検査 — 平日、夜間、土曜・日曜 —

(2008年)

(533件中)

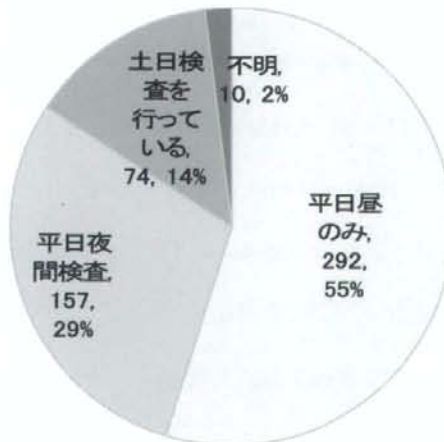


図5

各種HIV検査の実施状況（保健所数の割合）

(2008年)

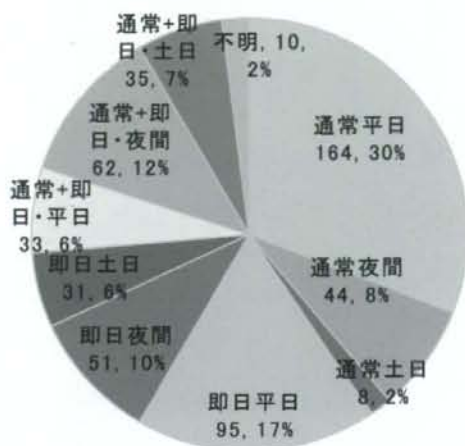


図6

各種HIV検査の受検者数(%)

(2008年)

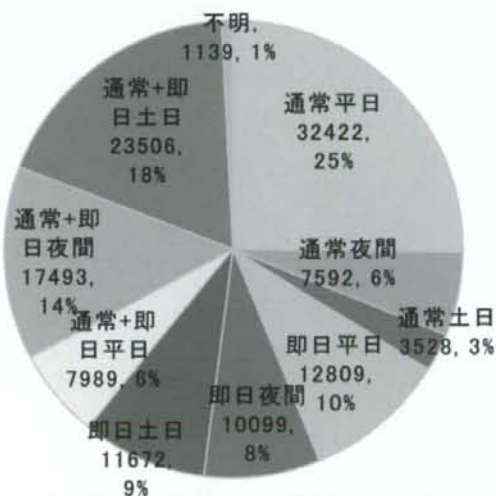


図7

各種HIV検査の陽性者数(%)

(2008年)



図8

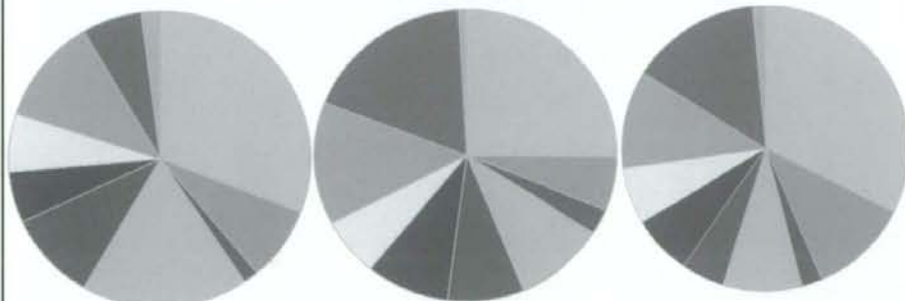
各種HIV検査の実施状況

(2008年)

【保健所数の割合】

【受験者数%】

【陽性者数%】



□ 通常平日 □ 通常夜間 ■ 通常土日 □ 即日平日 ■ 即日夜間
 ■ 即日土日 □ 通常即日・平日 □ 通常即日・夜間 ■ 通常即日・土日 □ 不明

図9

一施設当りの検査人数
 ()内は陽性者数

【通常検査】

(2008年)

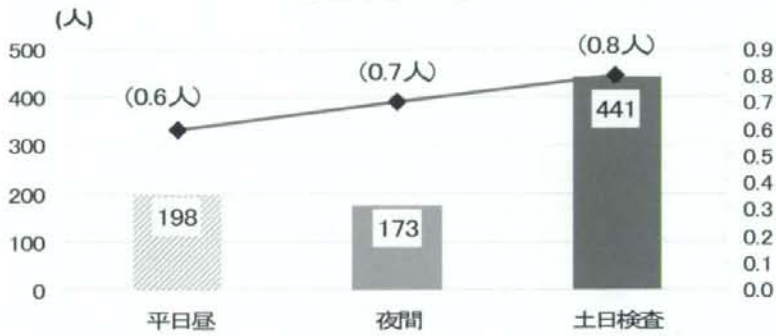


図10

一施設当りの検査人数
 ()内は陽性者数

【即日検査】

(2008年)

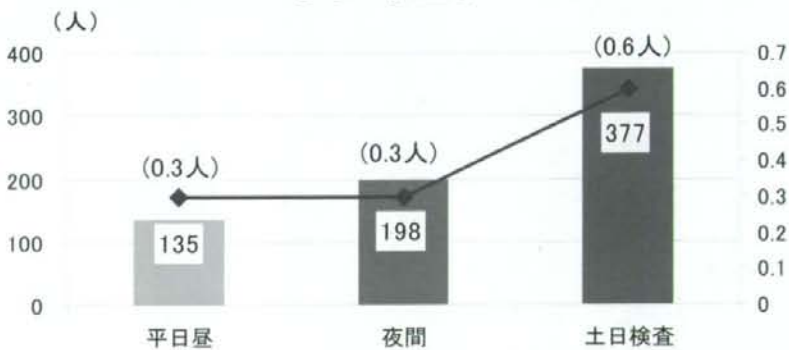


図11

一施設当りの検査人数

()内は陽性者数

【通常+即日】

(2008年)

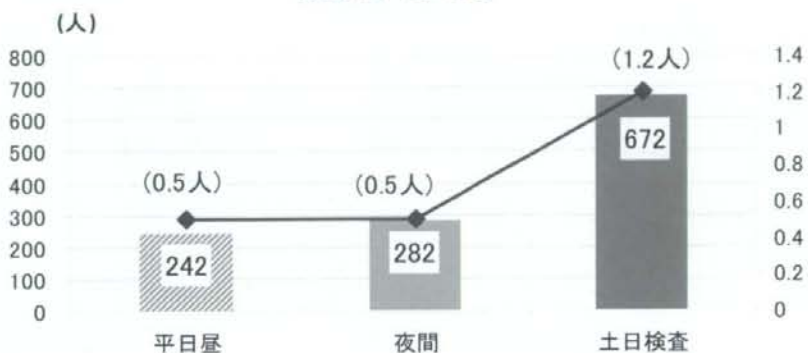


図12

年間検査件数別の保健所数

(2008年)

(533件中)

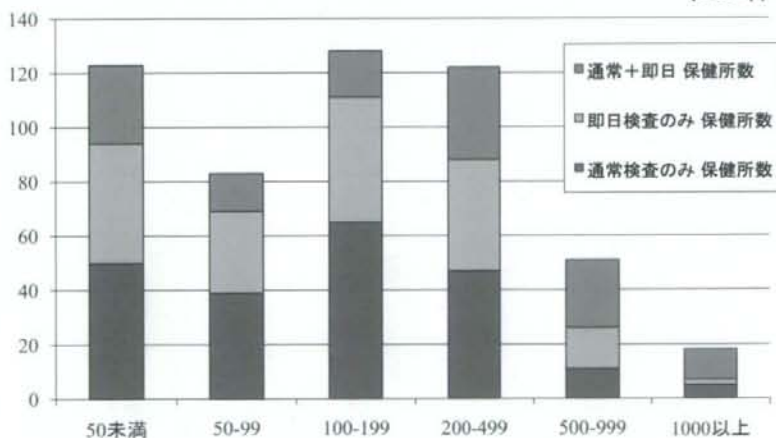


図13

年間検査件数別の 保健所数と検査数の割合

(2008年)

【保健所】

【検査人数】

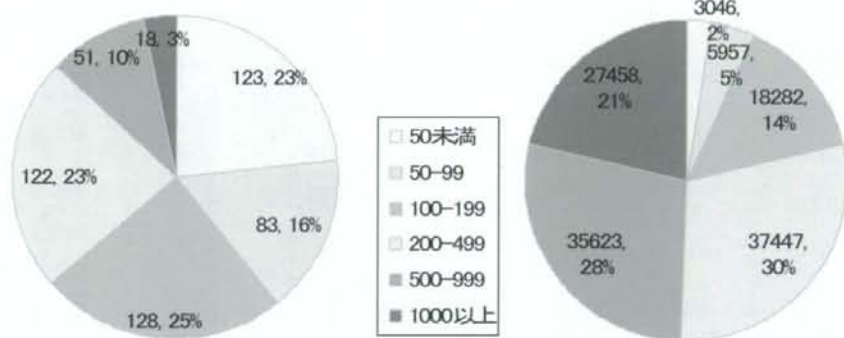


図14

年間検査件数別の陽性率

(2008年)

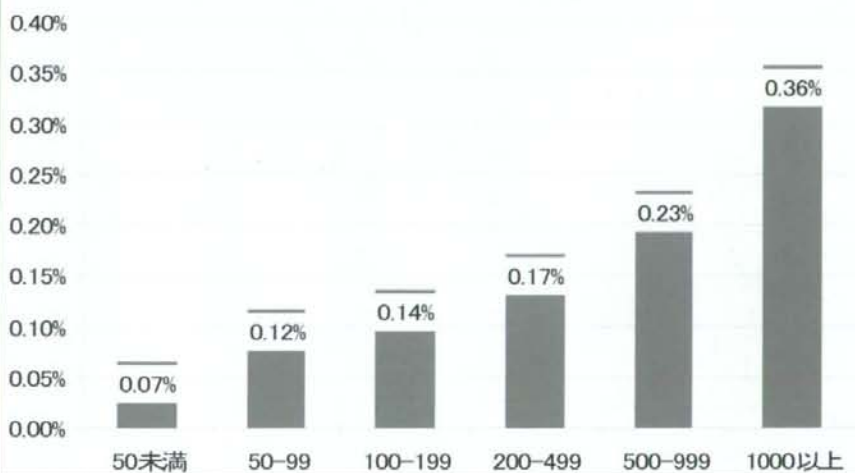


図15

年間検査件数別の陽性経験率

(2008年)

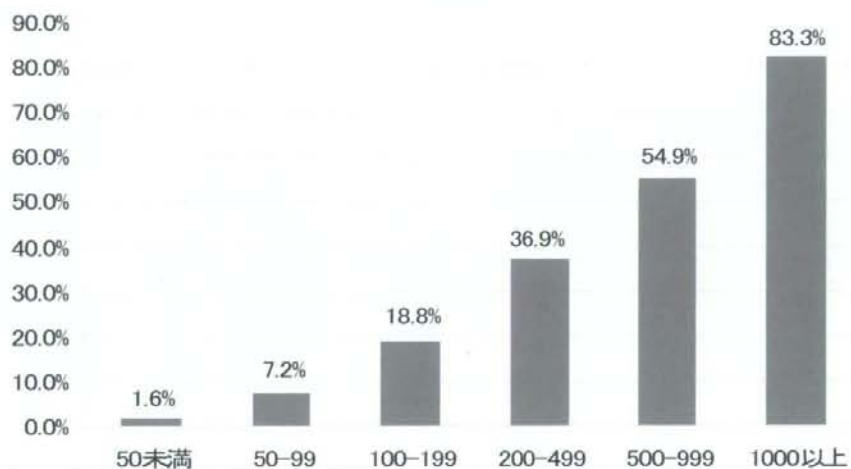


図16

年間検査件数別の受診把握率

(2008年)

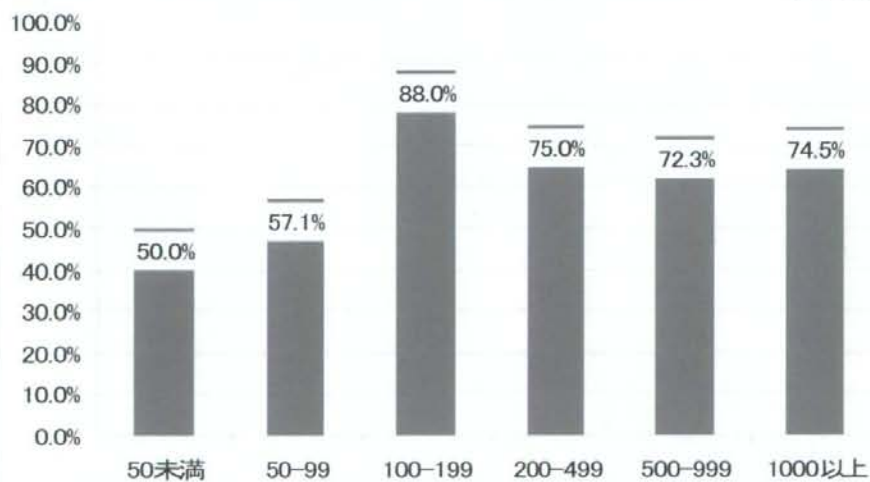


図17

HIV検査が予約制か否か

(2008年)

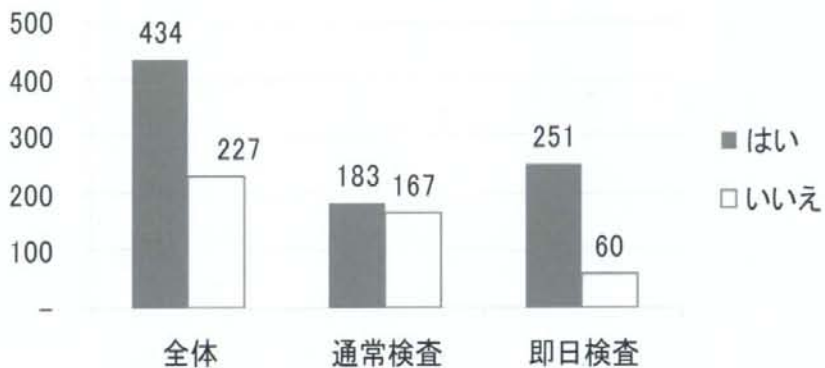


図18

HIV検査が予約制か否か

(2008年)



図19

予約制の場合上限があるか

(2008年)

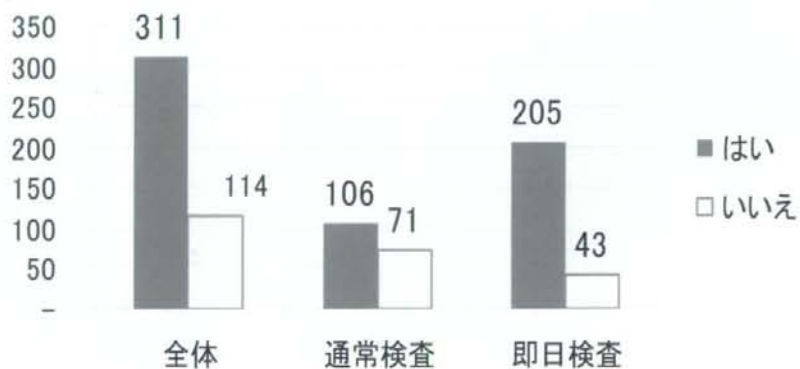


図20

予約制の場合上限があるか

(2008年)

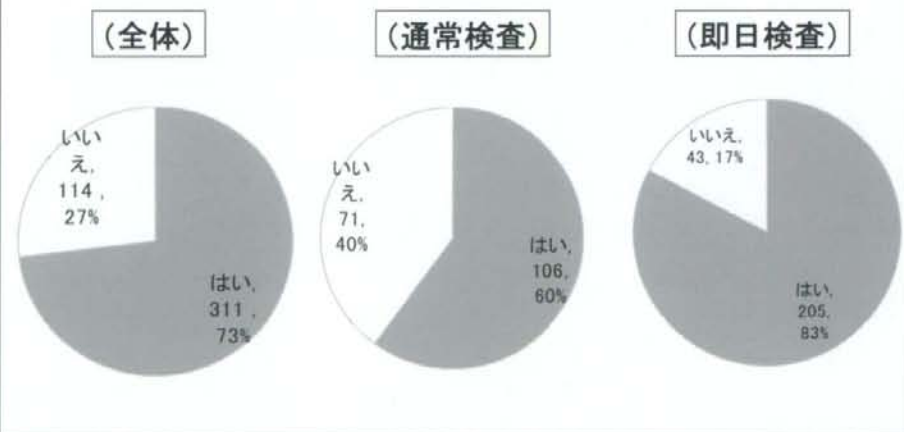


図21

保健所HIV検査
【検査件数別 検査人数上限数】 (通常検査)

(2008年)

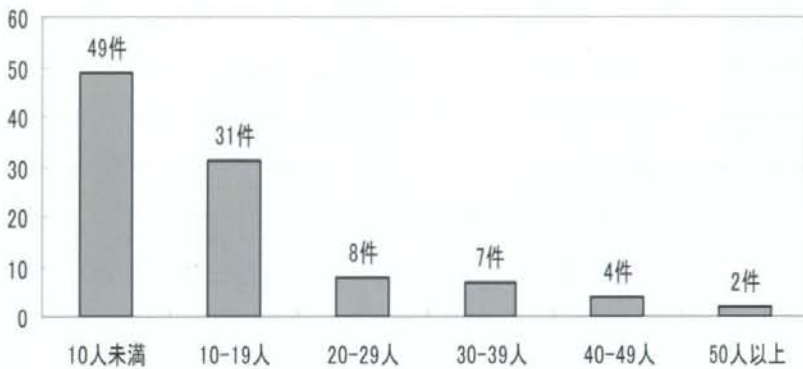


図22

保健所HIV検査
【検査件数別 検査人数上限数】 (即日検査)

(2008年)

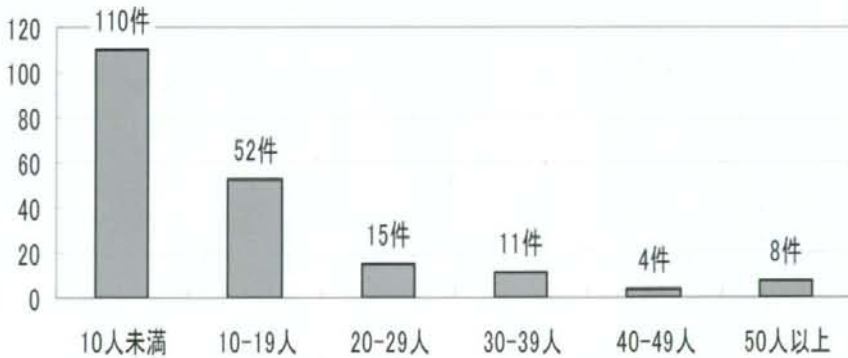


図23

受検者について把握している内容

(2008年)

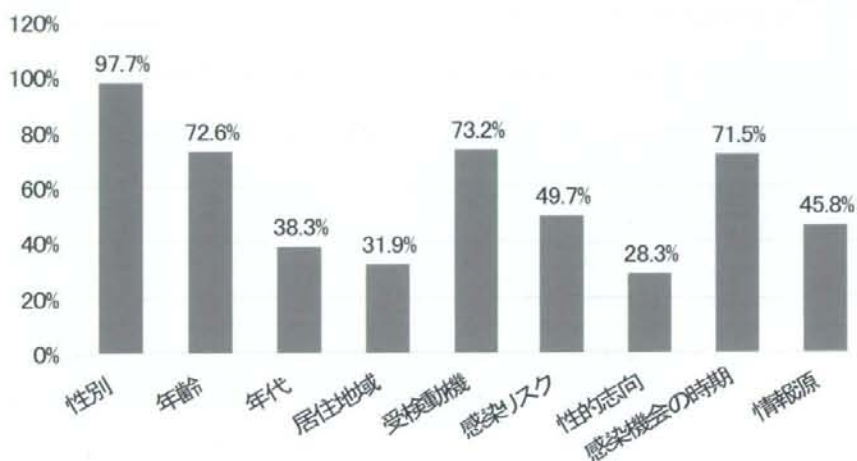


図24

事業の改善・見直しに活用している内容

(2008年)

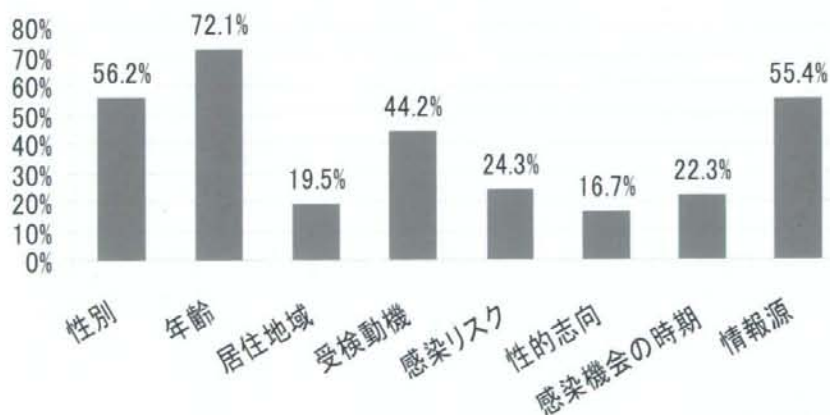


図25

HIV以外の性感染症検査を行っているか

(2008年)

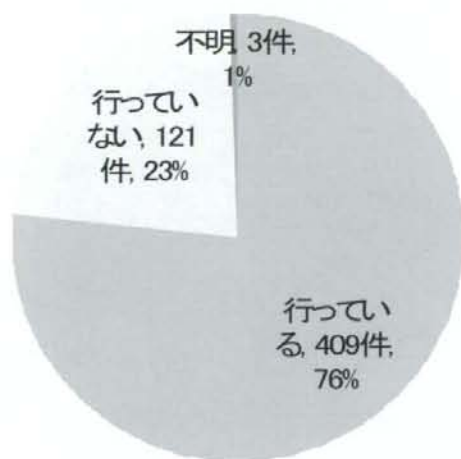


図26

HIV以外の性感染症検査を行っているか

(2008年)

